

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	令和6年度 第4回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	令和6年11月11日（月） 19:00～20:00
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 各部会からの報告 2 高松市在宅医療支援センターの報告について 3 令和8年度事業の方針について
公開の区分	☐ 公開 ☒ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	相談対応にかかる個人情報を取り扱うため、情報公開条例第7条第1号、第2号に該当
出席委員	18人 吉澤委員長、大原職務代理、大橋委員、北代委員、安田委員、林委員、三村委員、日下委員、永岡委員、岡野委員、古川委員、辻委員、藤原委員、中村委員、石野委員、片山委員、橋本委員、松本委員
関係者	市医師会事務局（5人）その他：医師会（伊藤会長、香西副会長、香川理事、塩見理事、佐用理事、西口理事）
傍 聴 者	0人
担 当 課 及 び 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進係 839-2346 在宅医療支援センター 839-2344 保健医療政策課 839-2860 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811

協議経過及び協議結果

1 各部会からの報告

(1) 退院支援・医療介護連携部会

- 10/18 第4回 退院支援・医療介護連携部会
 - ・第2回医療介護連携ミーティングについて
 - 【日程変更】令和6年11月9日（土）午後 → 令和7年1月11日（土）午後
 - 【会 場】高松市医師会 5階ホール
 - 【テ ー マ】訪問看護について
 - 【講 師】香川県立保健医療大学 副学長 片山陽子教授
 - ・ホームページサイト「在宅医療介護 Q&A」について

(2) 在宅医療コーディネーター部会

- 9/17 第1回 在宅医療コーディネーター養成研修
 - ・在宅医療コーディネーター養成の目的と役割、意思決定支援の基礎、在宅医療支援センターについての講義を実施。
- 10/8 第2回 在宅医療コーディネーター養成研修
 - ・介護保険制度、高松市の高齢者を取り巻く現状と社会資源についての講義と自所属で介

護保険サービスを活用するための現状と課題についてのグループワークを実施。

(3) 多職種連携部会

- 11/11 第4回 多職種連携部会 開催

(4) ICT 部会

2 高松市在宅医療支援センターの報告について

- 令和6年9・10月の活動報告
【相談件数】9月：37件、10月：33件

3 令和8年度事業の方針について

- 令和8年度の事業方針について、意見交換を行う。

A 委員

- ・在宅医療コーディネーターの養成は、令和6年度で一区切りし、今後はスキルアップに尽力する予定。在宅医療コーディネーターならではの活動を立ち上げる案もあるが、それぞれの所属先で在宅医療と外来受診の間の橋渡しをしてもらいたいと考えている。所属を退職したコーディネーターもいるので、いつかは新規養成を行う必要があるかもしれないが、令和7年度はスキルアップ研修のみ実施する事で考えている。
- ・ICT部会が、在宅医療情報サイトの管理に加え、在宅医療介護連携の普及啓発資料や、在宅医療コーディネーターが活用できる資料の作成を行う情報広報部会を兼ねることも方法としてあると考える。
- ・研修会やミーティングを行う部会をまとめることも、方法として考えられる。
- ・今後、3回にわたって事業の方針について、検討していきたい。

C 委員

- ・在宅医療コーディネーターには、地域に根差した実践部隊として、経験を積んでほしい。それぞれの所属先での立場や業務の妨げになる事はしないが、個別課題や地域課題を抱え込まないように、コーディネーター同士の繋がりを強化する方法を検討中である。
- ・福岡市では、市役所にユマニチュード推進課があり、ユマニチュード（人間らしさを尊重し、ケアを行う人の優しい気持ちを伝える技法）を医療介護連携だけでなく、救急の場面でも取り入れ、スムーズな搬送につながっている事例がある。

B 委員

- ・在宅医療コーディネーターは、社会資源として重要である。所属で待っているだけでは、相談は来ないので、民生委員との連携等、地域に出ていくことはできないだろうか。多職種が地域に出ていくことは、所属先のメリットや多職種自身の経験にもなる。

H 委員

- ・高松市薬剤師会として、在宅医療コーディネーターを活用して何か活動ができないかと検討中である。

【次回の会議】

令和6年1月20日（月）19：00～ 高松市医師会

※第2月曜日が、年始のため予定を変更する。